

# 平成 29 年度 事業報告書

(第 26 期)

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

(設立許可 平成 3 年 12 月 20 日)

公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団  
大阪府枚方市招提田近 1 丁目 9 番地

## 平成 29 年度 実施事業の概要

本年度は、平成 29 年 2 月の理事会ならびに同 3 月に開催された評議員会において決定された事業計画書に従い、以下の事業を実施した。

### I. 一般助成事業（事業管理費を含む実施額 2,270 万円、予算額 2,305 万円）

本年度は、年度計画に従い助成事業の中の 4 つの助成等を実施した。実施に当たっては、平成 29 年 5 月に助成事業の募集を開始し、応募締切日 7 月 20 日までに提出された申請書類を基にして 8 月 24 日に選考委員会を開いて審査分担を決めて採点が行われた。その結果に基づき選考委員会の推薦案をまとめ、12 月 4 日の理事会にて受贈者が決定した。贈呈式は平成 30 年 3 月 8 日にホソカワミクロン本社にて開催され、31 名の受贈者を含め 53 名の出席があった。

#### 1) KONA 賞の授与（賞金配分額 100 万円）

本年度は当財団として初めて、候補者の推薦を国内に限定せず、KONA 誌の国際的な編集委員会体制を活用して広く世界から募集した。その結果、国内外から 6 件の推薦があり、選考委員会で承認された 10 名（日本人 4 名、アジア・米国・欧州ブロックからそれぞれ 2 名）の KONA 賞審査委員による採点結果を基にして選考委員会で選考され、理事会にて承認を得た。その結果本年度は、スイス連邦工科大学 Prof. Sotiris E. Pratsinis に “Pioneer research on particle formation, agglomerate dynamics and, in particular, for placing flame aerosol technology on a firm scientific basis for scalable synthesis of nanomaterials” の業績に対して KONA 賞の授与が決定された。授賞式は、平成 30 年 9 月に開催される第 52 回粉体工学に関する講演討論会で行われる予定になっている。

#### 2) 研究助成（助成金配分額 1,460 万円）

本年度は昨年度 (195 件) とほぼ同数の 193 件の応募があり、その中から 21 件（昨年度は 23 件）の研究に対して助成することが決定された。研究助成については、採択率が 20% 程度以上になることを目指しているが、本年度も昨年度と同程度に応募件数が多かったため、研究助成の採択率は 10.9% (昨年度は 11.8%) に留まった。なお、一人当たりの審査件数を抑えるために、本年度も研究助成については、臨時審査委員 5 名を増員して審査が行われた。

#### 3) 研究者育成のための援助（援助金配分額 330 万円）

本年度は 35 件の応募があり、これらの中から選考委員会で 11 件が推薦された。第 2 回理事会にて本案が承認され採択者が決定された。本年度は採択者の中の外国人留学生は 1 名であった。

#### 4) シンポジウム等の開催援助（援助金配分額 60 万円）

シンポジウム開催援助については、粉体工学会内藤牧男会長から申請があった、平成 30 年 7 月 9～12 日に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催が予定されている同学会主催の“The 6th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2018) (第 6 回先進材料の界面制御と評価に関する国際会議)”が対象として採択された。

### II. 特定事業（事業管理費を含む実施額 469 万円、積立額 400 万円）

#### 1) 第 2 回国際ホソカワ粉体工学シンポジウム（2nd International Hosokawa Powder Technology Symposium）の開催（実施額 370 万円、予算額 310 万円）

当財団の設立 25 周年記念特定事業の一環として、平成 29 年 10 月 4 日に米国ニュージャージー州サミットにある Hosokawa Micron Powder Systems にて第 2 回国際ホソカワ粉体工学シンポジウムを開催した。今回のシンポジウムは、“Challenges & Opportunities in Particle Characterization & Processing”をテーマとして、4 件の講演が行われ、米国近隣国を含め、大学ならびに企業から全体で 100 名近くの参加があった。

#### 2) Nanoparticle Technology Handbook 改訂第 3 版の出版支援（実施額 99 万円、予算額 100 万円）

当財団設立 25 周年記念事業の一環として Nanoparticle Technology Handbook 改訂第 3 版の出版支援を行った。同書はその第 1 版が 2007 年に、第 2 版が 2012 年に Elsevier 社から出版され、当財団から出版支援を行っていた。本ハンドブックは基礎編と応用編からなるが、今回は従来版に 20 編近くの応用に関する章を追加して 79 章として 4 つのカテゴリーに分類したもので、その第 3 版(877 頁)が平成 30 年 3 月に出版された。

### III. 財団自主事業（実施額 1,133 万円、予算額 1,071 万円）

#### 1) 粉体工学に関する講演討論会の開催（実施額 394 万円、予算額 403 万円）

第 51 回粉体工学に関する講演討論会のプログラムと講演要旨、申込書を添付した案内状を 6 月から配布すると共に、当財団ならびにホソカワミクロンのホームページに掲載して集客を図った。そして、同講演討論会を 9 月 13 日(水)に千里阪急ホテルにて、「先端材料創成に求められる粉体技術」をテーマとして開催した。定員 150 名に対して、163 名の参加があった。本会の開催内容について、当財団のホームページに報告(9/14)すると共に、KONA 誌 No. 35 (2018) に報告記事を掲載した。なお、本講演討論会の企画は、粉体技術談話会（会長 齋藤文良東北大学名誉教授）に委託して行われた。

2) 国際学術誌「KONA Powder and Particle Journal」の発行（実施額 739 万円、予算額 688 万円）

本年度は、合計 21 件の論文（アジア 7 件、欧州 6 件、米国 6 件、自由投稿 2 件）を掲載した No. 35 (2018) (287 頁) を 1,100 部印刷し、平成 30 年 1 月 10 日付けで出版して、国内外の読者、大学、図書館等の関係者への発送を行うと共に、同日財団ホームページに出版の案内を行い、Web ジャーナルも掲載した。

平成 30 年 1 月 30 日にアジアブロック編集委員会を開催し、次号 No. 36(2019)の出版に向けて、新たに 15 本の推薦論文の提案があり、昨年度に未掲載の推薦論文を含めて、執筆可否の問合せを行った。なお、本誌は既に J-STAGE に掲載され、一昨年度末にオープンアクセス化されたが、昨年度に日本科学技術振興機構（JST）の支援を受けて、オンライン投稿査読システムの導入が採択され、本年度からその運用を開始した。

#### IV. 年報の発行（実施額 93 万円、予算額 75 万円）

年報は当財団の活動状況と財団の助成を受けた研究の成果等を公表するために発行される。年報 No. 24(2016)は、平成 28 年度の活動状況報告を中心としたもので、平成 26 年度研究助成成果報告 23 件と平成 27 年度研究者育成のための援助成果報告 10 件を掲載し、平成 29 年 5 月に発行した。なお、当財団の年報は平成 21 年度以降、冊子での発行を取り止め、ホームページでの掲載のみとなっている。昨年度に科学技術振興機構からの支援を受けて当財団の年報が J-STAGE に登載されることになり、平成 29 年 2 月に初めて年報 No. 23(2015)が同システムに掲載されたが、本年度は No. 17(2009)まで遡って公開した。

以上